



(写真説明) 学生たちを受け入れるのは、大神輿の露払いを務める土橋町。土橋町が年番を務めた震災の年の2011年には64軒でしたが、現在は45軒に。自分たちが大切にしているまつりを伝えたいと、今年も9月15日に、2年前と同様、揃いの法被ほふへを用意して、幌獅子ほろししの巡行に参加する学生たちを迎えます。

一年で一番、石岡が熱くなる3日間。常陸國總社宮例大祭

日本とアメリカの学生がみた、 私たちのまつり、石岡のおまつり

9月14日〜16日。石岡のまちが一年で一番、活気づく3日間がやってきます。

土橋町と玉川大学・

ドレクセル大学の交流

2017年9月17日、玉川大学の学生と共に、米国フィラデルフィアにあるドレクセル大学の学生が石岡市の土橋町にやって来ました。これは両大学による、グローバルリーダーシップを育成する共同授業のプログラムの一環。毎年、日米で交互に開催されています。2年前に石岡のおまつりに参加した学生の感想を紹介します。

華

やかな祭りの裏には、何か月も前から大変な準備をしてきた石岡の方々がいらっしやうた。その励む姿にとっても感動した。縁もゆかりもないわたしたちに貴重な体験をさせてくださった、本当に良くしてくださった。力を合わせるこの大切さを知っているからこそできる、人のあたたかさなのではなかるうか。子どもたちの姿を見て、きっと生まれた時から石岡のおまつりに参加し、毎年のおまつりの成功に向けて、地域が一丸となって取り組むことを肌

\ あなたに知ってもらいたい /

まつりを支える人々のこと

一年にわたる務めと誇り「年番町」

町中にお出ましになった神様の分身をまつる「御仮殿おかりや」を建て、もてなす町内のことを年番町といます。年番制度は明治35年(1902年)に始まり、現在は15町内が一年交代で年番を担います。年番町の仕事は、大神輿に連なる供奉行列の巡行ルートの決定から御仮殿の建設、常陸國總社宮で行われる奉納相撲や事前の清掃活動など多岐にわたります。

供奉行列の巡行は、年番町によって何度もシミュレーションされ、分刻みのスケジュール。これは午後2時～4時の間に、2000人以上が一斉に常陸國總社宮から年番町内に建てられた御仮殿までを移動するため。当たり前のように進んでいくように見える、まつりの裏側には、1年にわたる年番町の周到な準備があるのです。

今年の年番は、國分町

石岡囃子には大きく分けて、ゆったり目なテンポの染谷流とテンポの速い三村流と呼ばれる流派があり、國分町のお囃子は染谷流。10人のひょっとこが傘をもって山車の上で舞い踊る10人笠踊りは國分町のお囃子の特色です。



まちが輝く、ハレの日のために

國分町の山車を引くのは青年会の皆さん。会長を務めるのは埴佳晃さん(30歳)です。「子どもの頃に憧れたのは、國分町の山車の上で踊る囃子衆と山

今年はフォトコンテストの新企画も登場。私たちのまちのまつりの素晴らしさを一緒に発信していきましょう！
(詳しくは裏表紙へ)

今年も、再び、まつりを支える地域コミュニティのあり方を学びに、日米の学生36名が石岡にやってきました。
2年前、巡行を終えて会所に戻ると、手づくりのおにぎりや味噌汁が用意され、土橋町婦人部の心のこもったおもてなしで、学生たちは迎えられました。言葉が通じなくてもお互いの気持ちが通じた瞬間。
今年も、土橋町では「なぜ、まつりをやるのか」を伝えることを大切に学生たちを受け入れます。

で感じて育っていくのだろうか。と思うと羨ましかった。石岡の子どもたちが大人になったときには、このおまつりを守り続けていくことが自分の使命だと思うだろうし、この伝統がある故郷を誇りに思うのではないだろうか。誰かが声をあげなくとも、不思議と続くのが伝統なのだ。石岡のお祭りでは大勢の人が協力し成し遂げることに楽しさと難しさ、そして成功する達成感を一緒に味わうことができた(第5回玉川大学とドレクセル大学の共同授業カルチュラル・リーダーシップ・プロジェクト 2017年度報告書より)



國分町女子部。手話を取り入れた囃子言葉は見事に揃っています。各町内の愛にあふれた囃子言葉にも注目です。

車を動かす青年会の大人たち。非日常のまちなかの雰囲気の中で夢中でしたが、大人になって神事の意味を理解していくと、まつりの大切な部分を次世代にどう伝え、繋げていけるかを考えるようになりました。

埴さん率いる青年会では、今年のまつり直後から山車清掃に取り掛かっています。アク取り、ワックス塗り、総仕上げ。暑い日も寒い日も週3～5日、多い時は週7で仕事終わりに作業し、全工程が終了したのが8月下旬。中日15日夜の山車大行列では、國分町の山車が先頭を切ります。1年をかけて準備したハレの舞台は必見です。

相町制度って？

年番を務める15町内には「相町あいちょう」と呼ばれる特に関係の深い町内があります。まつりの成功のために協力し合う相互扶助の仕組みです。

山車や獅子に飾る提灯列に、一つだけ違う町内の提灯。これが相町の証。國分町の相町は富田町です。

お囃子交流イベント・グルメブースも

地元の人に教わる！「お囃子体験」

ところ：石岡駅西口直結ステーションパーク

地酒と食の豊かさ伝える「うまいもん広場」

ところ：HOTEL SOSHA 駐車場

駐車場を併設「駅東広場 屋台村」

ところ：駅東広場

詳しくは広報いしおか Facebook ページ▶

